

第99回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和5年6月20日（火）14時00分～16時50分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

III 出席者

- ・学外委員：石井靖乃、川村恒明、木村利男、小林武弘、齋藤佐和、竹下義樹、森戸久雄、山岸直人の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、酒井貢、四日市章、長島一道、谷貴幸、香田泰子、加藤一夫、三好茂樹、嶋村幸仁の各委員

欠席者

- ・学外委員：石野富志三郎、北原保雄、中村信一の各委員
- ・学内委員：なし

陪席者

- ・大島愼子監事、竹内啓博監事
- ・【審議事項（1）のみ陪席】河原准教授、宮城准教授、青木特任助教
- ・【報告事項（5）のみ陪席】河野教授

IV 議 事

1 前回議事録の確認について

議長から、資料1に基づき、第98回の議事録について説明があり、原案どおり確認された。

2 審議事項

（1）新たな学部等の設置について

議長、香田委員及び谷委員から、資料2-1～3に基づき、新たな学部等の設置について説明があり、審議の結果、委員の意見を踏まえて加筆・修正することとした上で承認された。

（主な意見）

○合同授業について

- ・聴覚障害学生及び視覚障害学生に対して合同で授業を行う場合、十分な教育内容の質が担保できるのか。両方の障害に精通した教員でなければ困難と思われるため、適切な教育体制についても学内で議論してほしい。
- ・企業では聴覚障害者及び視覚障害者が協働して業務を行うこともあるため、合同授業での経験が就職活動及び就業に際して役立つことを期待したい。

○育成する人材像について

- ・具体的にどのような能力を備えた人を育成するのか判然としない。志願者に対しても卒業後の就職先に対しても育成する人材像は一番大事な部分であるため、更に検

討してほしい。例えば、説明のあったセルフアドボカシースキルについては、それを備えただけの人材では不十分で、それを備えた上で、他者への指導ができるような人材の育成を目指すべきである。

○卒業後の進路について

・省庁のうち、教育を管轄する文部科学省や開発を管轄する経済産業省が入っていないことには疑問がある。卒業生の活躍の場について十分なイメージができているのか。育成する人材像と併せて更に検討してほしい。

○カリキュラムについて

・教養教育については、従来型の科目だけでなく、「総合知」や「人間や社会に対する洞察力」を養う科目の開設を考えるべきではないか。単位数も含めて更に検討してほしい。また、教養教育については、既存の学部でも共通の話であるため、新学部における教養教育のカリキュラムの検討を手掛かりにして連携を図ってほしい。

(2) 令和4年度自己点検・評価の結果について

事務局から、資料3-1~2に基づき、令和4年度自己点検・評価の結果について説明があり、審議の結果、委員の意見を踏まえて加筆・修正することとした上で承認された。

(主な意見)

○基準5-3について

・改善を要する事項において、適正化を図る取組として学生募集活動の強化のみが記載されているが、新たな志願者確保のために新学部の設置に向けた検討を行っていることを記載すべきではないか。

○基準6-8について

・改善を要する事項において、卒業率が低いことの要因分析がされていない。教える側に要因があるのか、教わる側に要因があるのか又は他の要因があるのか分析すべきではないか。来年度の大学機関別認証評価の受審までには説明できるようにしてほしい。

(3) 共生社会創成機構の設置に伴う関係規則等の整備について

事務局から、資料4-1~3に基づき、共生社会創成機構の設置に伴う関係規則等の整備について説明があり、審議の結果、委員の意見を踏まえて加筆・修正することとした上で承認された。

(主な意見)

○組織及び管理運営に関する規則に係る「設置の目的」及び共生社会創成機構規程に係る「業務」の記載がわかりにくいため、字句の整理が必要ではないか。

(4) 管理職員特別勤務手当に関する規程の制定について

事務局から、資料5に基づき、管理職員特別勤務手当に関する規程の制定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(5) 令和4事業年度決算について

事務局から、資料6-1~4に基づき、令和4事業年度決算について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(6) 令和6年度概算要求について

事務局から、資料7-1~2に基づき、令和6年度概算要求について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(7) 学長選考・監察会議委員（経営協議会）の選出について

議長から、資料8に基づき、学長選考・監察会議委員（経営協議会）の選出について説明があり、審議の結果、石井、川村、小林、齋藤及び森戸の各委員を選出することが承認された。

(8) その他

特になし。

3 報告事項

(1) 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

事務局から、資料9-1~2に基づき、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

(2) 令和5年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について

事務局から、資料10-1~2に基づき、令和5年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について報告があり、谷委員及び加藤委員から特別支援学校出身者及び一般高校出身者の比率について補足説明があった。

(3) 令和4年度卒業・修了生の進路状況について

事務局から、資料11-1~2に基づき、令和4年度卒業・修了生の進路状況について報告があった。

(4) 令和4年度国家試験合格状況について

事務局から、資料12に基づき、令和4年度国家試験合格状況について報告があった。

(5) その他

河野教授から、机上配付資料に基づき、令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の採択等について報告があった。

以上